



# 第61期 中間報告書

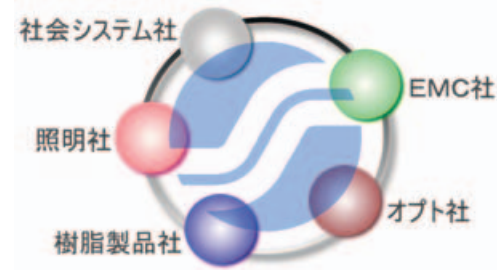
平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

 皇和電機株式会社

証券コード：6748

## 経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、  
新技術に挑戦して、社会に貢献する。



星和電機は、5つのカンパニーの総力で、  
光と情報の新時代を拓きます。

株主のみなさまへ	1
事業別の状況	2
トピックス	4
財務の状況(個別)	6
財務の状況(連結)	7
会社概要	8
株主メモ	9

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて当社第61期中間期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申しあげます。

当中間期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融・株式市場の混乱、原油および原材料価格の高騰などにより企業収益の悪化や設備投資の減少が見られ、景気減速感が一段と強まりました。

このようななか、当社におきましては、コスト競争力の強化と顧客満足度の向上に努め、積極的に営業活動を展開しました。

この結果、当中間期の売上高は83億80百万円(前年同期比4.3%増)、経常損失4億56百万円(前中間期は5億17百万円の経常損失)、中間純損失6億30百万円(前中間期は4億54百万円の中間純損失)となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますのでご了承のほどお願い申しあげます。

今後の見通しにつきましては、公共事業の抑制傾向や景気後退など市場環境の好転が見込めず厳しい局面が予想されるなか、コスト低減活動、諸費用の削減努力を進め、利益の確保に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、環境保全に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

とりわけLED照明市場は、国の省エネルギー対策を背景とした急速なニーズの高まりをうけて、新しいシーズが市場に続々と登場することが予想されます。このような状況のもと、当社におきましても10月よりLED産業用照明を市場投入すると同時にLED道路照明・トンネル照明等の開発を進めております。また今後は、照明モジュールを住宅用照明・店舗用照明として本格的に拡販していくことを重点課題とし、既存事業部門と新規事業部門が一体となってLED照明事業の推進に注力してまいります。

さらに、4月に新設いたしました企業統治推進部を中心に、内部統制の確立、コーポレート・ガバナンスの強化コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。



平成20年12月

取締役社長

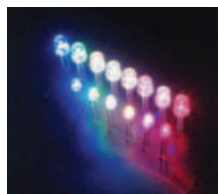
増山晃章

## 事業別の状況

### 新規事業 24.3%

20億34百万円 (前年同期比 10.6%減)

電磁ノイズ対策製品は前年同期水準で推移しましたが、オプトデバイス製品は、アミューズメント業界のホール設置自粛や販売価格の低下により減少しました。



●主要製品：電磁ノイズ対策製品  
オプトデバイス製品 (青色・白色LED)  
LEDチップ選別装置

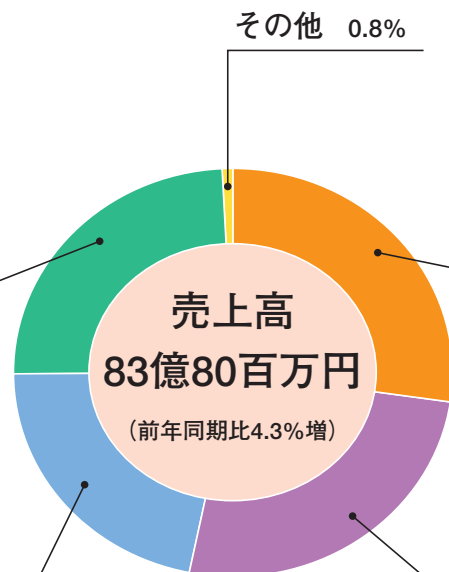
### 樹脂製品事業 21.7%

18億21百万円 (前年同期比 4.4%増)

民間設備投資関連の配電盤用などの配線保護機材は減少しましたが、個人消費のエアコン用配管保護機材は、増加しました。



●主要製品：配線保護機材 配管保護機材



### 情報機器事業 27.3%

22億89百万円 (前年同期比 36.0%増)

この部門の主力製品であります道路情報機器において、期首の受注残高物件の売上が前中間期に比べ増加しました。



●主要製品：道路情報表示システム  
トンネル防災システム LED式信号機

### 照明機器事業 25.9%

21億69百万円 (前年同期比 0.1%減)

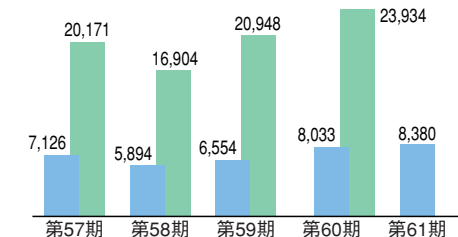
民間設備投資関連の産業用照明器具が減少しましたが、公共投資関連の道路・トンネル照明器具が増加しました。



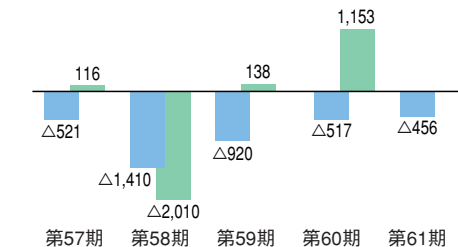
●主要製品：産業用照明器具 制御機器  
道路・トンネル用照明器具 交通安全機材

### 財務ハイライト

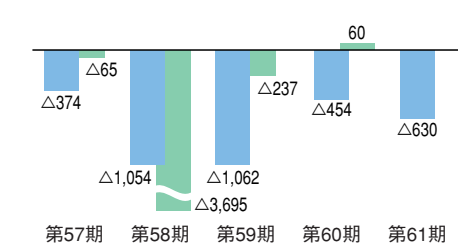
#### ●売上高 (単位:百万円)



#### ●経常利益 (単位:百万円)



#### ●中間(当期)純利益 (単位:百万円)



地球環境に配慮し、本社1階ロビー照明をLED化

高まる地球環境問題に配慮し、本社1階ロビーの照明をLED化しました。

今回LED化した照明器具は、1階ロビー全体と玄関・通路部分の4機種計33台で、消費電力は従来の蛍光灯タイプの照明器具に比べ、37%（当社比）の電力削減を実現しました。

自社開発のLEDを光源に使用したLED照明器具「ベルピュール」シリーズの技術に、新たに開発した高効率・高力率の専用電源を組み合わせ、独自の照明器具設計を行い器具全体効率の向上をはかりました。

本設置のLED照明器具は、長期実証試験を兼ねたものとなっております。

当社では長年産業用照明器具の開発・製造で培った技術と、2002年から参入したLED素子製造の技術を融合させ、信頼性の高いLEDモジュールや照明器具の開発に取り組んでいます。



埋込型照明 (□400広角タイプ)



埋込型照明 (□400狭角タイプ)



通路用照明 (ラージタイプ)



ダウンライト



とってもエコなLED照明

星和電機のエコLED照明器具「ベルピュール」シリーズは、地球環境に優しい「4E」(マイナスイオン)を社会と暮らしの中にお届けします。



国内初！ 耐圧防爆形LEDハンディライトを発売

国内初となる防爆エリアで使用できる小型・軽量な耐圧防爆形LEDハンディライトを発売しました。

防爆エリアは、可燃性ガス又は引火性液体の蒸気が存在する恐れのある場所であり、電気火花による爆発・火災の危険性があるため、厚生労働省の型式検定試験で防爆認定を受けた電気機器の使用が義務付けられています。

従来の防爆形携帯電灯は、その要求仕様を満たすため大きく且つ重くなり、携帯するには難がありました。自社開発のLED技術と、長年培った防爆技術を融合させることによって、防爆で小型軽量を実現しました。

耐圧防爆形LEDハンディライトは、水素ガスやアセチレンガスの発生する場所にも使用可能で、作業着のポケットやツールホルダーに収納し携帯できます。また、落下時や静電気による火花を防ぐために本革製カバーを採用しました。



表紙の写真は、光のページェント『TWINKLE JOYO 2007』（城陽市総合運動公園）の様子です。

毎年12月に開催されるこのイベントに地元市民をはじめ多くの方々が、幻想的な光の空間を楽しんでおられます。

当社は、LEDイルミネーションを昨年に引き続き今年は10万球寄贈いたしました。

## 財務の状況（個別）

	前中間期(第60期) 平成19年9月30日現在	当中間期(第61期) 平成20年9月30日現在	前期(第60期) 平成20年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
流動資産	13,313	11,744	15,736
固定資産	6,736	6,007	6,324
有形固定資産	3,270	2,952	3,067
無形固定資産	29	64	28
投資その他の資産	3,436	2,990	3,228
資産合計	20,049	17,751	22,060
<b>[負債の部]</b>			
流動負債	8,644	7,070	10,020
固定負債	2,697	2,540	3,015
負債合計	11,341	9,611	13,035
<b>[純資産の部]</b>			
株主資本	8,039	7,776	8,553
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	1,236	976	1,751
自己株式	△190	△193	△191
評価・換算差額等	668	364	471
純資産合計	8,708	8,140	9,024
負債・純資産合計	20,049	17,751	22,060

	前中間期(第60期) 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当中間期(第61期) 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期(第60期) 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	8,033	8,380	23,934
売上原価	6,747	7,169	19,161
売上総利益	1,286	1,211	4,773
販売費及び一般管理費	1,739	1,654	3,480
営業利益又は営業損失(△)	△452	△443	1,293
営業外収益	65	70	111
営業外費用	129	83	250
経常利益又は経常損失(△)	△517	△456	1,153
特別利益	4	—	4
特別損失	62	238	1,217
税引前中間(当期)純損失(△)	△575	△695	△59
法人税、住民税及び事業税	11	6	22
法人税等調整額	△132	△71	△141
当期純利益又は中間純損失(△)	△454	△630	60

## 財務の状況（連結）

	前中間期(第60期) 平成19年9月30日現在	当中間期(第61期) 平成20年9月30日現在	前期(第60期) 平成20年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
流動資産	13,754	12,090	16,187
固定資産	6,862	6,038	6,332
有形固定資産	3,548	3,203	3,327
無形固定資産	34	74	40
投資その他の資産	3,279	2,760	2,964
資産合計	20,616	18,129	22,519
<b>[負債の部]</b>			
流動負債	8,741	7,074	10,059
固定負債	2,714	2,548	3,028
負債合計	11,455	9,623	13,087
<b>[純資産の部]</b>			
株主資本	8,338	8,022	8,835
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	1,535	1,221	2,034
自己株式	△190	△193	△191
評価・換算差額等	690	367	472
少数株主持分	131	116	123
純資産合計	9,160	8,506	9,432
負債・純資産合計	20,616	18,129	22,519

	前中間期(第60期) 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当中間期(第61期) 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期(第60期) 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	8,139	8,487	24,162
売上原価	6,797	7,267	19,304
売上総利益	1,342	1,219	4,857
販売費及び一般管理費	1,774	1,711	3,560
営業利益又は営業損失(△)	△431	△492	1,296
営業外収益	56	66	106
営業外費用	131	84	257
経常利益又は経常損失(△)	△505	△509	1,145
特別利益	5	0	5
特別損失	62	242	1,218
税金等調整前中間(当期)純損失(△)	△562	△751	△66
法人税、住民税及び事業税	29	8	38
法人税等調整額	△134	△87	△145
少数株主利益又は損失(△)	5	△5	4
当期純利益又は中間純損失(△)	△462	△667	35

	前中間期(第60期) 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当中間期(第61期) 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期(第60期) 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	839	1,819	1,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247	△360	△488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△495	△1,788	△485
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2	△6
現金及び現金同等物の増減額	97	△326	200
現金及び現金同等物の期首残高	2,201	2,401	2,201
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,298	2,075	2,401

## 会社概要

### 会社の概況（平成20年9月30日現在）

商号 星和電機株式会社  
英文名 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.  
創業 昭和20年10月1日  
資本金 33億8千万円

### 事業所

本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地  
北海道支社 札幌市中央区南1条西5丁目8番地  
東京支社 東京都千代田区神田美土代町3番地3  
中部支社 名古屋市東区泉一丁目21番15号  
関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号  
営業所 東北（宮城県）・新潟・京都・高松・  
広島・福岡

物流センター 関東物流センター（茨城県）

### 役員（平成20年9月30日現在）

取締役社長（代表取締役） 増山晃章  
専務取締役（代表取締役） 愛知後秀作  
専務取締役 山口豊隆  
常務取締役 酒井邦夫  
取締役 正林啓志  
取締役 佐野廣一  
取締役 中島賛太郎  
取締役 井上通昭  
監査役（常勤） 岡正  
監査役 森本忠義  
監査役 中野淑夫  
監査役 益満清輝

※監査役のうち中野淑夫および益満清輝は社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月  
基準日 定時株主総会 3月31日（その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。）  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
公告方法 当社のホームページ (<http://www.seiwa.co.jp/>) に掲載します。  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

### 郵便物送付先・お問い合わせ先

	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（変更ありません）	

### お知らせ

平成21年1月より株券が電子化されます。そのため株式に関するお手続きに変更がある場合がございますのでご注意ください。  
詳しくは、上記「お問い合わせ先」へご確認ください。  
なお、住所変更や買取請求等については、従来どおりご利用の証券会社等へご連絡願います。

安全を技術でおとどける……

**SEIWA**<sup>®</sup>

**皇和電機株式会社**

<http://www.seiwa.co.jp/>  
京都府城陽市寺田新池36番地  
TEL : 0774-55-8181